2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上場会社名　ＮＫＫスイッチズ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6943　URL https://www.nkkswitches.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 大橋　宏成
問合せ先責任者　(役職名) 取締役　(氏名) 海老沼　博行　TEL 044-813-8026

半期報告書提出予定日　2026年11月12日　配当支払開始予定日　2026年12月11日
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	5,434	40.5	741	―	814	―	657	―
2026年3月期中間期	3,868	△2.5	△20	―	58	608.4	31	△38.6

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　781百万円　(―%)　2026年3月期中間期　66百万円　(―%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	798.98	―
2026年3月期中間期	38.72	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	17,489	14,330	81.9
2026年3月期	15,791	13,614	86.2

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　14,328百万円　2026年3月期　13,612百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	40.00	―	80.00	120.00
2027年3月期	―	150.00			
2027年3月期(予想)			―	150.00	300.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	31.4	1,100	291.8	1,225	200.3	846	189.1	1,028.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2026年11月12日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正並びに 剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期中間期	842,520 株	2026年3月期	842,520 株
② 期末自己株式数	2027年3月期中間期	19,876 株	2026年3月期	19,856 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年3月期中間期	822,650 株	2026年3月期中間期	822,751 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載しております業績見通し等の将来に関する記述につきましては、当社グループが本資料の発表日現在にて入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢や市場動向等に関わるリスク、不確定要因により変動する可能性があります。また、業績予想の背景や前提条件等の詳細につきましては、添付資料の3ページ「1．当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
(セグメント情報等の注記) …… 7
(継続企業の前提に関する注記) …… 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 8

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く世界の経済環境は、地政学的リスクや為替変動、関税政策・輸出入規制を巡る不確実性など、先行きに引き続き注視を要する状況にありました。一方、AI関連の設備投資は活発に推移し、関連産業の成長を下支えしました。当社グループが属する電子部品市場においては、過剰在庫の調整一巡に加え、AI関連投資の活発化を背景に、データセンターや半導体製造装置などの関連機器向けを中心に需要が拡大しました。その波及効果は幅広い製品に及び、業界全体の回復基調が一段と鮮明となりました。当社グループでは、旺盛な需要を背景に、想定を上回る受注と生産が継続いたしました。一方、原材料価格や物流費の高騰に加え、今後の先行発注の反動による需要調整の可能性については、引き続き留意が必要と認識しております。

このような環境の中、当社グループは、2030年のありたい姿として掲げたグループビジョン「私たちが笑顔となり、お客様の困りごとを顧客目線で解決する真のパートナーとなる」の実現に向け、2025年度を初年度とする３ヵ年の中期経営計画Ⅱに取り組んでおります。本計画では、中期経営計画Ⅰで重点的に取り組んできた「信頼」および「納期」に関する施策を継続するとともに、さらなる成長に向けて「顧客価値の向上」を掲げております。具体的には、放送音響機器や特殊車両等の分野における「特定市場の深耕」と、グループが一体となって最適な納期を実現する「生販一体の供給基盤の構築」を重点テーマとして、着実に推進しております。

以上のことから、当中間連結会計期間の売上高は5,434百万円（前年同期比40.5％増）、営業利益は741百万円（前年同期は20百万円の営業損失）、経常利益は814百万円（前年同期は58百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する中間純利益は657百万円（前年同期は31百万円の親会社株主に帰属する中間純利益）となりました。

なお、当中間連結会計期間の平均為替レートは、１米ドル159.33円（前年同期比9.1％の円安）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

１　日本

日本におきましては、在庫調整の一巡に伴う実需の回復や、産業機器・FA・制御機器向けの底堅い需要、AI関連投資の拡大に伴うデータセンター向け需要の増加を背景に、受注は好調に推移いたしました。また、鉄道市場をはじめとする特定市場の深耕やソリューションビジネスの展開を通じ、収益基盤の強化に取り組みました。この結果、当中間連結会計期間の外部顧客向売上高は前年同期比14.8％増、グループ間の取引を含んだ売上高は4,014百万円（前年同期比36.3％増）となりました。

２　欧米

米国におきましては、AI関連需要の拡大を背景に、電子部品市場の幅広い分野で景況感が改善し、受注は好調に推移いたしました。また、ロボット市場をはじめとする新たな特定市場の開拓に積極的に取り組みました。欧州におきましても、特殊車両や放送音響分野の需要回復を背景に、販売・受注ともに好調に推移いたしました。この結果、当中間連結会計期間の外部顧客向売上高は2,618百万円（前年同期比53.6％増）となりました。

３　アジア

アジアにおきましては、中国の内需回復の遅れや米国の通商・関税政策、地政学的リスクによる不透明感が続く中、AI・半導体関連の需要に支えられ、受注は好調に推移いたしました。また、AI関連分野や特定市場のリーディングカンパニーとの関係強化、新たな案件の開拓に向けた取り組みが、業績の拡大に寄与いたしました。この結果、当中間連結会計期間の外部顧客向売上高は920百万円（前年同期比79.9%増）、グループ間の取引を含んだ売上高は3,736百万円（前年同期比74.1％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

１　資産

当中間連結会計期間末における資産合計は17,489百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,698百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が246百万円、電子記録債権が295百万円、原材料及び貯蔵品が623百万円、有形固定資産が532百万円、投資有価証券が263百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が269百万円減少したことによるものであります。

２　負債

当中間連結会計期間末における負債合計は3,159百万円となり、前連結会計年度末に比べ982百万円増加いたしました。これは主に買掛金が377百万円、短期借入金が501百万円、その他の固定負債が65百万円増加したことによるものであります。

３　純資産

当中間連結会計期間末における純資産合計は14,330百万円となり、前連結会計年度末に比べ715百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が181百万円、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が591百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間の業績等を踏まえ、2026年８月６日の「2027年３月期第１四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想における為替レートにつきましては、１米ドル150円を前提としております。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,718,253	3,964,880
受取手形及び売掛金	1,346,266	1,076,837
電子記録債権	210,253	505,591
商品及び製品	1,149,990	1,126,869
仕掛品	75,839	81,794
原材料及び貯蔵品	2,059,368	2,683,186
その他	475,569	445,159
貸倒引当金	△5,733	△5,723
流動資産合計	9,029,807	9,878,597
固定資産		
有形固定資産	3,540,255	4,072,993
無形固定資産	814,336	848,800
投資その他の資産		
投資有価証券	1,676,996	1,940,239
その他	729,801	749,154
投資その他の資産合計	2,406,798	2,689,394
固定資産合計	6,761,390	7,611,188
資産合計	15,791,197	17,489,785
負債の部		
流動負債		
買掛金	550,441	927,953
短期借入金	―	501,000
未払法人税等	34,031	47,771
引当金	125,116	103,292
その他	622,932	648,671
流動負債合計	1,332,521	2,228,688
固定負債		
退職給付に係る負債	56,130	68,132
役員退職慰労引当金	239,500	248,250
その他	548,784	614,602
固定負債合計	844,415	930,984
負債合計	2,176,937	3,159,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	9,528,284	10,119,755
自己株式	△163,341	△163,439
株主資本合計	11,150,047	11,741,420
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	927,477	1,108,824
為替換算調整勘定	1,535,058	1,477,849
その他の包括利益累計額合計	2,462,536	2,586,673
非支配株主持分	1,675	2,018
純資産合計	13,614,260	14,330,112
負債純資産合計	15,791,197	17,489,785

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	3,868,287	5,434,986
売上原価	2,329,611	2,920,303
売上総利益	1,538,675	2,514,682
販売費及び一般管理費	1,559,637	1,773,571
営業利益又は営業損失（△）	△20,961	741,110
営業外収益		
受取配当金	31,627	34,603
受取賃貸料	15,924	15,973
為替差益	7,982	－
持分法による投資利益	22,527	25,775
その他	10,683	17,486
営業外収益合計	88,744	93,838
営業外費用		
支払利息	2,946	6,084
賃貸収入原価	6,669	6,627
為替差損	－	7,991
その他	－	140
営業外費用合計	9,616	20,843
経常利益	58,166	814,106
特別利益		
固定資産売却益	－	2,206
特別利益合計	－	2,206
特別損失		
固定資産除却損	292	518
特別損失合計	292	518
税金等調整前中間純利益	57,873	815,793
法人税、住民税及び事業税	65,302	152,707
法人税等調整額	△39,173	5,460
法人税等合計	26,129	158,167
中間純利益	31,744	657,626
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△114	342
親会社株主に帰属する中間純利益	31,859	657,283

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	31,744	657,626
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87,686	181,346
為替換算調整勘定	△53,351	△57,209
その他の包括利益合計	34,335	124,136
中間包括利益	66,080	781,763
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	66,194	781,420
非支配株主に係る中間包括利益	△114	342

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	1,651,632	1,704,826	511,828	3,868,287
外部顧客への売上高	1,651,632	1,704,826	511,828	3,868,287
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,293,523	－	1,634,791	2,928,315
計	2,945,156	1,704,826	2,146,620	6,796,603
セグメント利益又は損失（△）	△197,504	141,474	127,471	71,442

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利　益	金額
報告セグメント計	71,442
セグメント間取引消去	△92,403
中間連結損益計算書の営業損失（△）	△20,961

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	1,895,803	2,618,353	920,829	5,434,986
外部顧客への売上高	1,895,803	2,618,353	920,829	5,434,986
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,119,068	－	2,815,646	4,934,715
計	4,014,871	2,618,353	3,736,476	10,369,701
セグメント利益	130,359	240,065	466,469	836,894

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利　益	金額
報告セグメント計	836,894
セグメント間取引消去	△95,783
中間連結損益計算書の営業利益	741,110

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。